

BUSINESS REPORT 2013



株主通信 | 第18期 決算のご報告
2012年4月1日 ▶ 2013年3月31日

TOP MESSAGE

「MRPlus[®]」を 主力事業と捉えて 第2の創業ステージへ



株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

2013年3月期（以下「当期」）は、2010年3月期より3期続いた赤字から脱却し黒字転換を果たすことが出来ました。黒字転換の主な要因は、「MRPlus[®]（エムアールプラス）」を中心とした売上高の伸長と、コスト構造の抜本的な見直しによる経費の削減など、安定した収益構造を確立するための計画を継続して進めてきたことによるものです。

今後の当社の成長の鍵は、製薬企業向けの主力サービス「MRPlus[®]」です。2012年3月期に2社での実稼働運転を踏まえバージョンアップに取り組んだ結果、当期は11社から採用をいただき、製薬企業の「MR（各医師への営業を行う製薬企業の担当営業）が医師に会いにくい」「自社製品情報をきちんと伝えられない」という悩みに応えるサービスとして着実に浸透してきました。2014年3月期（以下「今期」）は、更なる売上高の拡大を目標にしながらも、効果重視で堅実な展開を図ってまいります。

当社は現在11万人以上の医師に当社の医療医学情報をご利用いただいております。当社の差別化された優位性は、この良質な医師会員に尽きます。

研修医の自己学習を支援する「CareNet CME」、実地医療に向き合う臨床医の生涯教育に役立つ「CareNet.com」、そして世界最大の医学動画教育サービス「医楽座」（2013年7月より「carenetTV」に名称変更）、さらに薬局薬剤師教育の新サービス「ProファーマCH」など医療人の教育学習を継続して支援するサービスを各種展開しています。多くの医療・医薬従事者の方に情報を適切に提供することを通じ、患者さんがより質の高い医療を受けられる社会の実現に向けた取り組みを行うほか、医師会員の深いニーズを汲み取り、製薬企業との橋渡しができるような新サービスの開発にも精進いたします。

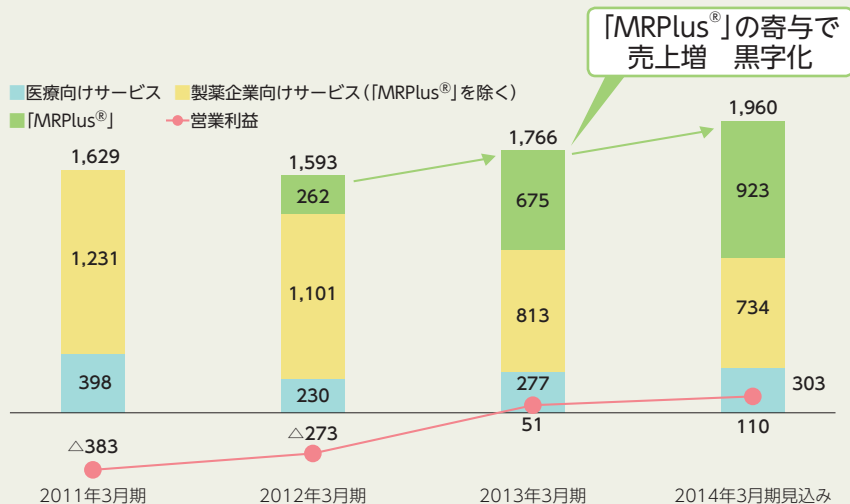
医薬業界におけるインターネット活用は新たなステージに入ってきました。製薬企業は長い間、MR（国内に6万人）を主体にした営業活動を行ってきましたが、医師の多忙化や病院の訪問規制、そして製薬企業の医師接待規制強化などで大きな曲がり角にきています。この変化をどうチャンスに変えるかが当社経営に問われています。

今期も、全社一丸となって、更なる業績向上と企業価値の向上に努めてまいりますので、株主の皆さまには、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社ケアネット 代表取締役社長

大野 元泰

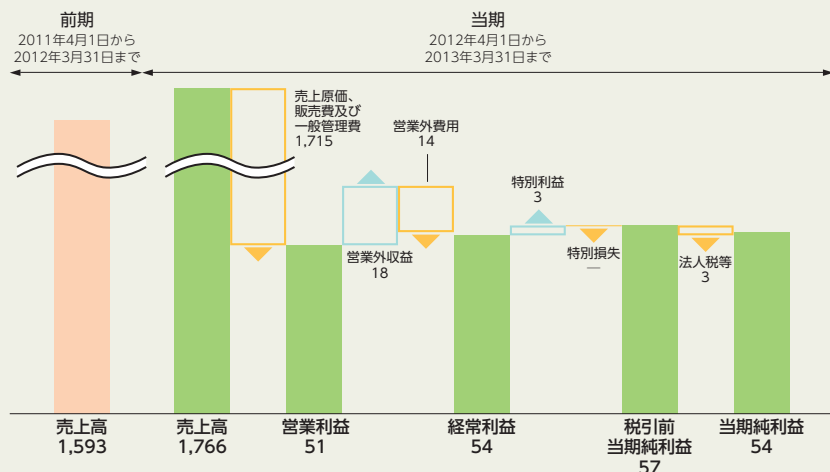
■売上高・営業利益の推移 (単位：百万円)



Point

当期は、主に「MRPlus®」の伸長による売上高の増加に加え費用削減を実施した効果により2010年3月期から続く営業損失を解消いたしました。前期（2012年3月期）に開始した「MRPlus®」は当期において実施企業数が2社から11社、売上高は262百万円から675百万円となりました。2014年3月期においても、更なる販売拡充に努め売上高は923百万円を見込んでおります。また、インターネット動画配信サービス「医楽座」は7月より「careneTV」としてリニューアルを行い積極的な販売促進を実施し売上の拡大を図ってまいります。これらにより2014年3月期は、売上高は1,960百万円、営業利益は110百万円となる見込みであります。

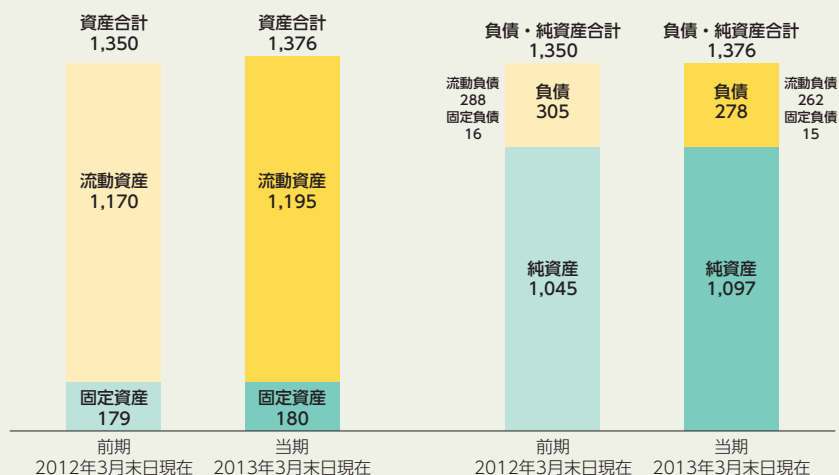
■損益計算書の概要 (単位：百万円)



Point

当期は、売上高1,766百万円（前期比10.9%増）、営業利益は51百万円（前期は営業損失273百万円）、経常利益は54百万円（前期は経常損失267百万円）、当期純利益は54百万円（前期は当期純損失479百万円）となりました。

■貸借対照表の概要 (単位：百万円)



Point

当期末時点での現金および現金同等物残高890百万円、自己資本比率79.8%の水準、および有利子負債残高なしの各指標から健全性を確保していると判断しております。

今期の黒字化のキーワード

- ①「MRPlus®」の成長
- ②「医楽座」の本格化
- ③会員数の拡大

左を開きますとこれらの詳細をご説明いたします。

① 「MRPlus[®]」の成長

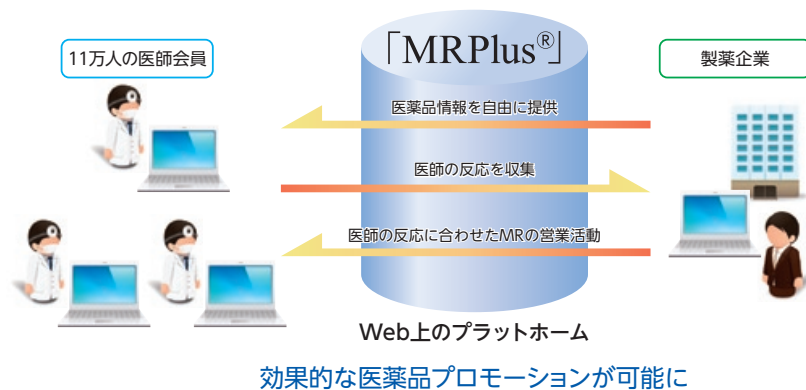
導入企業11社へ

「MRPlus[®]（エムアールプラス）」とは、製薬企業の医薬情報を医師会員および製薬企業が指名する医師にインターネットで配信するサービスです。配信後には、医師の視聴情報や視聴後の感想・意見・アンケート結果などをタイムリーに担当MRのモバイル端末などへ通知し、担当MRの営業活動をより効率的・効果的にサポートします。

当システムでは、医薬情報（病態、作用機序・メカニズム、効果効能安全性、診断・治療法など）が動画と音声によるストーリー形式のコンテンツで医師に配信され、医師は好きな時にいつでも「MRPlus[®]」にアクセスし手軽に医薬情報を得ることができます。また、付随するナビゲーション機能によりMRが医師と効率的に面会できる機会を創出します。

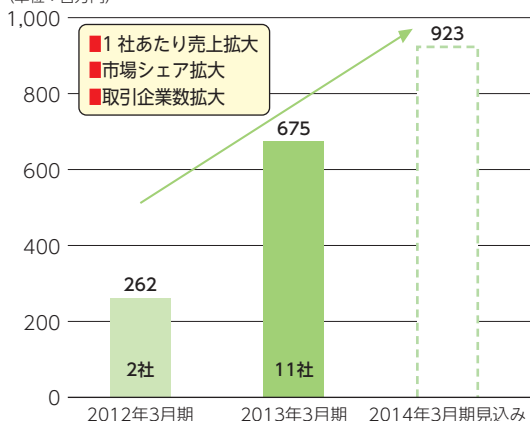
このように「MRPlus[®]」は、単に情報伝達をするだけでなく、従来のeディテリング[®]の進化形として医師と製薬企業の双方向コミュニケーションをリアルタイムに実現する、インターネット時代の新しいサービスとして大きな期待が寄せられております。

■自由で双方向性の高いコミュニケーション・ツール



■ケアネットの主力商品「MRPlus[®]」の売上高推移

(単位：百万円)



今後の取り組み

前期（2012年3月期）には、「MRPlus[®]」を市場投入したことにより、大型薬剤から新薬までの幅広い領域で製薬企業へのマーケティング支援を行うことができました。

これにより当社では、「MRPlus[®]」を今後の当社の主力サービスと位置づけ、さらに商品の改良と深化を図ってまいります。

今期は、バージョンアップとサービスの向上を反映した「MRPlus[®]」をもって販売活動に注力し、導入企業数の増加に努めてまいります。

当社は医療メディア企業として「医楽座」や「carenet.com」など医師の学習を継続して支援するサービスを展開し、それらサービスをご利用いただいた医師と製薬企業を結ぶ製薬企業向けサービスを提供しております。

今後も、当社の成長の鍵となる「MRPlus®」などの製薬企業向けサービスを支える医師会員のために、エビデンスに基づいた情報の提供や日常の診療に役立つコンテンツの提供など、医師のニーズを汲み取ったサービスを展開してまいります。

②「医楽座」の本格化

700以上のコンテンツを収載

医楽座 IRAKUZA CareneTV

「医楽座」は、多忙な医師の中でも特に開業医やこれから開業を考えておられる方にお役立ていただきたい有料の医学動画サイトで、「ケアネットDVD」やプライマリ・ケア領域で特に人気の高い一流講師の最新セミナーが、700番組以上(2013年5月末現在)収載されております。

また、開業に役立つ「マガジン」や会員の声を集めた「コミュニティ」、集まった声からサービスを拡充していく「コンシェルジュ」など、さまざまなサービスも展開しています。場所を選ばないiPhoneやiPadからのアクセスにも対応しており、これからも、多くの医師の方々にご満足いただける医学動画サイトであり続けることを目指しております。

※2013年7月から「careneTV」に名称変更いたします。



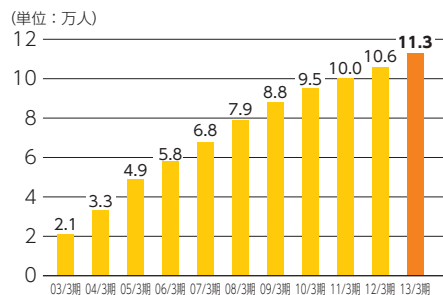
③ 会員数の拡大

日本の医師の3人に1人が会員に

当社は、1996年の創業以来、医師をはじめとする医療従事者向けに日常の診療に役立つさまざまな医療情報を提供してまいりました。2000年に開設した当社の臨床医学情報専門サイト『CareNet.com』の医師会員数は、2012年8月末時点で11万人を突破しており、日本の医師総数29.5万人(2012年厚生労働省調べ)のうち当社の会員シェアは実に約37%に達しております。

当社の『CareNet.com』は2012年に大幅なりリニューアルを行い、サイト構成とデザインを一新し、ユーザーにとってより利便性の高いサイトへと生まれ変わりました。今後も機能やサービスの拡充に努め、「医師の生涯学習サイト」として臨床現場で役立つ高付加価値のコンテンツを発信し、会員数の増大と医療への貢献を果たしてまいります。

■ 医師会員数の推移



■会社概要 (2013年3月末日現在)

社 名 株式会社ケアネット
 所 在 地 東京都千代田区九段南1-5-6 りそな九段ビル
 設 立 1996年7月
 従 業 員 数 79名
 ※上記従業員ほかに、臨時従業員(1日8時間勤務換算)
 27名が従事しております。
 事 業 内 容 製薬企業向けの医薬営業支援サービス
 マーケティング調査サービス
 医師・医療従事者向けの医療コンテンツサービス

■株式の状況 (2013年3月末日現在)

発行可能株式総数…………… 200,000株
 発行済株式の総数…………… 52,460株
 株主数…………… 2,213名

※2013年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施し、併せて100株を1単位とする単元株制度の採用をいたしました。

■大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
ケアネット・イノベーション投資事業有限責任組合	25,914	49.79
株式会社キャリアブレイン	2,580	4.95
大野 元泰	1,314	2.52
京セラ株式会社	1,115	2.14
藤井 寛治	748	1.43
川西 徹	720	1.38
秦 充洋	650	1.24
日本証券金融株式会社	508	0.97
姜 琪鎬	428	0.82
詫摩 直也	363	0.69

(注) 持株比率は自己株式(419株)を控除して計算しております。

■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当の基準日	3月31日
銘柄	株式会社ケアネット
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話:0120-232-711(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告とし、当社のホームページに掲載します。 http://www.carenet.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
証券コード	2150
証券取引所	東証マザーズ

※当社は2013年4月1日をもって、1株を100株に分割するとともに、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。

ホームページのご紹介

株主・個人投資家の方々に対しての
 当社の状況をわかりやすく伝えたコンテンツを
 提供しております。

<http://www.carenet.co.jp/ir>

または、**ケアネットIR** **検索** で検索ください。

IR情報 トップ



個人投資家の皆さまへ



わかりやすく
 詳しい